

主 題

地 域 の 課 題 解 決 へ

～ 全 国 高 校 生 カ イ ギ 参 加 者 が 報 告 ～ 3 年 7 組 金 城 広 弥

地域の課題解決へ

全国高校生カイギ 参加者が報告

那 覇

9月13～15日に神奈川県鎌倉市で行われた、地域の課題解決プロジェクトを高校生が発案する「全国高校生「鎌倉」カイギ」（主催・NPO法人カタリバ）に参加した県内高校生7人が9月26日、那覇市古島の興南高校で報告会を行った。興南中学校・高校の生徒や教員ら約40人が、高校生それぞれの特徴あふれるプロジェクトに耳を傾けた。報告したのは興南、読

谷、開邦の3高校の生徒。一人一人が自らの問題意識で計画を練っていった。「カイギ」は今回初開催。全国から約70人が参加した。

読谷高校3年の金城広弥



地域の課題解決プロジェクトを発表した（前列左から）興南高の神谷こはるさん、奥間千夏さん、屋宜佳南さん、（後列左から）外富陸君、西村一馬君、開邦高の玉城亜紀乃さ

君（18）は流ちょうな読谷・波平方言であいさつした後「言葉をはじめ沖縄の特色が失われている。地域の結び付きが減っている」と話し、沖縄文化の学習会開催などを提案した。

興南高校1年の神谷こは

るさん（15）は、県内の犬や猫の殺処分が多さに問題意識を持ち「幼稚園で読み聞かせをして動物を慈しむ心を伝えたい」と発表した。

今後、継続して各自でそれぞれのプロジェクトに取り組む。月に1度会合を持ち、状況の共有や意見交換をしていく。

カタリバの金城円さんは「県外高校生と議論し合う中で、自分の地域を客観的に見て『より良くしたいところ』という刺激を得たのではないか」と話した。